



くすのき

学校のシンボル
くすの木

令和6年度 第10号

令和7年1月31日

さいたま市立土合小学校

調査結果から見る土合っ子の強さ

校長 白倉 秀樹

今年度も余すところあと2か月となりました。児童が1年間のまとめとして、これまでに学んだことを振り返りながら学習に取り組んでいる様子をよく見かけます。12月に実施予定だった「土合っ子まつり」が、1月15日と16日に行われました。1年生から6年生までのランダムに組まれたグループが、全学年が楽しめるゲームやクイズをグループごとに企画し、それぞれの活動教室をブースとして運営するまつりです。グループ内で2手に分かれ、半分が運営する側になり半分は他のブースに参加する側になります。高学年は低学年と共にブースをまわります。私もいくつかのブースに参加しましたが、短時間で楽しめるものばかりで、よく考えられているなど感心しました。また、高学年の子どもたちが低学年の子どもたちの面倒をよく見ている姿にも感心しました。ブースを運営するにしても、高学年だけで行うのではなく低学年にもきちんと活躍の場を任せている場面が多く見られました。協働する学びの実践としてこれ以上ないものを見せてくれました。

また、1月9日から14日にかけて、令和6年度のさいたま市学習状況調査が行われました。それに先立って、昨年の11月に令和5年度の生活調査からいくつか質問を選び、再調査を行いました。学校だより5月号で、昨年度のさいたま市学習状況調査の結果についての考察をお伝えしたことも踏まえ、今月はその再調査の考察についてお伝えします。質問は以下のとおりです。

	今回の結果	昨年度結果
①難しいことでも、失敗を恐れずチャレンジしていますか	85.5%	75.5%
②自分にはよいところがありますか	89.4%	89.6%
③今住んでいる地域行事に参加していますか	70.4%	61.8%
④地域や社会をよくするために何かしてみたいですか	81.3%	78.2%
⑤家で自分で計画をたてて勉強していますか	73.3%	70.5%
⑥学級の友達との話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりすることはできていますか	91.5%	87.3%

学校だより5月号で気がかりとした①の質問については予想以上の向上が見られたことが驚きでした。その他の質問についても、昨年度と同様もしくはそれ以上の子どもたちの意識の高さを確認できました。昨年の4月に行われた全国学力学習状況調査においても同じ質問がありまして、今年度の全国の6年生との意識の違いを見ました。④の質問についての全国結果は38.3%でした。⑥については44.1%でした。土合小学校の子どもたちの意識の高さが伺えます。また、冒頭にも述べましたが、独りよがりの意識の高さではなく、周りの人間と連携して行動することの大切さを認識した意識の高さをもっていることが本校の子どもたちの強さであり、その根源は学校だけでなく、家庭や地域からの教育が充実しているからこそその結果ではないかと分析しております。この強さを次年度にも継続させていきたいと考えております。